

北海道教育実践表彰で下幌呂小学校
藤野教諭表彰



優れた教育活動により大きな成果を上げ、本道の学校教育の向上に大きく貢献している公立学校を表彰する「北海道教育実践表彰」で村内の下幌呂小学校に勤務する藤野和明教諭が表彰されました。藤野教諭は、鶴居村等の小学校外国語等巡回指導教員として、村内等の研修会の講師を努めるなど他の模範となり、保護者や指導員等と連携を図り、管内等の小学校の外国語教育の振興と充実に大きな成果を上げることが評価され受賞しました。藤野教諭は「表彰されて非常にうれしい、これからも頑張っていきたい」と話しました。

「鶴居村フォトコンテスト」開催



村ではタンチョウ、湿原、風景、どさんこ、自然、生活風景など村ならではの魅力ある写真のフォトコンテストを開催しています。応募期間は令和4年7月31日までで、最優秀賞には3万円相当の村の特産品が贈られるほか、優秀賞や特別賞も用意されています。応募方法はメールの

データ応募とインスタグラムを経由する応募方法があり、応募写真は令和2年1月以降に撮影したものに限り、ドローン撮影や合成写真などは不可となります。詳細は「鶴居村フォトコンテスト」で検索、ポスターに掲載してあるQRコードからご確認ください。

役場・総合センターに新しい非常用
発電機を設置しました



災害発生時、災害対策本部が設置される役場庁舎において、業務継続が必要なこと、また、総合センターは、中心的な役割を担う指定避難所であることから、冬季中の災害対応に備え、暖房設備を含めた施設全体を維持する発電能力が必要とされてきました。このことから、新しい非常用発電設備を総合センター西側の屋外に設置し、3日間以上は、外部からの電力供給がない場合でも、独自に施設全体の電力供給を維持できるように、防災体制の強化を図りました。

鶴居村女性団体連絡協議会より手縫い雑巾の寄附



鶴居村女性団体連絡協議会の白田さゆり会長、藤原千晶監事、小泉きぬ子監事から村上教育長へ手作りの雑巾が寄附されました。各地区の協議会会員が1枚1枚手縫いで作製した雑巾は村内各小・中学校の校内清掃等に役立ててもらうことを目的に、毎年同協会から寄附いただいています。雑巾の大きさは、小学生でも扱いやすい小さいサイズから、中学生と大人が使える大きいサイズの2種類を用意しており、白田会長は「校内清掃から新型コロナウイルス感染症対策などに役立てて欲しい」と話しました。